

訪問看護



No.49

訪問看護ステーション
TEL 32-2416

ステーション便り

2025年まで、あと7年です。2025年問題をご存知ですか？

7年後の2025年、団塊の世代の皆さんが75歳以上の後期高齢者となります。国民の3人に1人が65歳以上の高齢者という時代が到来し、少子化も同時に進んでいます。

医療や介護の現場では、以前から2025年問題を重要な問題として意識しています。2025年に後期高齢者が急増することで社会保障給付費の急増と、医療・介護・福祉サービスの担い手・受け皿不足が深刻化するからです。そこで、国は健康寿命を伸ばすこと(予防)を目指し、在宅医療を推進しています。

「人生100年時代」。今の若者は、仕事や子育てをしながら親や祖父母の介護をし、保護者世代は、孫の面倒をみながら両親と祖父母の介護をすると予測されています。家族内介護だけでは厳しいため、世代を問わず地域ぐるみで支える仕組みを考えていかななくてはなりません。

学習会を行いました



医師による講義



薬剤師による調剤



保健師による脳トレ



福祉用具(電動ベッド)



人工肛門・装着体験

訪問看護ステーションでは、初めての試みとして、東郷中学校と協力して「在宅医療・介護を考える会」をテーマに、次世代を担う中学生・保護者・地域住民の方が一緒に、各職種の実験をする参加型の学習会を行いました。

感想(抜粋)

=生徒より=

- 自分たちがこれからの地域を支える実感がわいた
- 将来家族が病気になった時の役に立てたい

=参加者より=

多くの専門職の方を招いた貴重な学びの機会だったと思います。興味深いお話や資料が満載で、各講座をゆっくり見てまわりたいかったです。こうした企画はもっと地域の方も含め、多くの方に参加していただけたらと思いました。少子超高齢化の現代社会を見つめる子供たちにとっても、良い機会でした。思いやりの心が大切だと感じました。



ボールウォーキング



医療用ウィッグ



在宅酸素



ケアマネジャーによる高齢者疑似体験



サポートセンターによる「かかりつけ医」とは



歯科衛生士による講義



訪問看護による聴診器、血圧測定、マッサージ



リハビリ・車椅子、ストレッチ、片麻痺、口コモ、食べること

訪問入浴